



待ちに待ったプール開き式

2日（木）の5校時、今シーズンのプール開き式がありました。

式の中では、校長の話の後、北島体育委員長より誓いの言葉の発表がありました。本来なら、式の後、5・6年生全員で初泳ぎを行う予定でしたが、当日は、曇りで、やや肌寒い天候でしたので、6年生の代表7名のみが泳ぎを見せるという形に変更になりました。代表7名は、冷たい水の中もものともせず、元気に50mを泳ぎ切りました。

これからプール納めのある8月31日（水）までは、気温24度以上、水温23度以上、併せて47度以上になった学年ごとの授業時間に、泳力を伸ばすための水泳指導が行われます。

（夏季休業中の開設日は後日連絡します）

去年よりもたくさん泳げるようにがんばってほしいと思います。

ただ、プールは楽しいところですが、命に関わる危険も潜んでいます。プールでの約束やマナーをしっかり守って、絶対に事故のないようにしなければなりません。ふざけたり、プールサイドを走ったり、飛び込んだり、押したりするのは禁物です。それについては、学校でも厳しく指導していきますが、教師の指示をよく聞いて、勝手なことはしないようにご家庭でもお子さんに話していただければと思います。



＜体育委員長より誓いの言葉＞



＜6年代表児童による初泳ぎ＞

「校旗を作ろうプロジェクト」始まる！！

絹製の学校旗を作るための繭を育てる「校旗を作ろうプロジェクト」（群馬県世界遺産課主催）の取組が、3学年で始まりました。6日（月）に県より配布された蚕500匹と飼育セットを使い、1か月かけて育て、繭を収穫します。このプロジェクトは、群馬県が絹文化や絹遺産の理解を広めようと、昨年度より取り組む「絹文化継承プロジェクト」の一環です。本校では、昨年度に引き続き、プロジェクトに参加しました。



3年生が収穫した繭は、7月～8月中旬に安中市碓氷製糸農業協同組合で生糸にし、8月下旬から10月に桐生市の織物業者が生地を織って校旗を作るという工程で、校旗が出来上がります。

このプロジェクトに参加することで、群馬県の絹文化という歴史を知るとともに、蚕の飼育を通して、命を育てることの大切さを感じ取ってほしいと思います。

5年生による宿泊学習が行われる

6月3日（金）・4日（土）に、梅田町にある桐生市青少年野外活動センターで、5年生による1泊2日の宿泊学習が行われました。両日とも天候に恵まれ、梅田湖1周ウォークラリーやキャンプファイヤー、カレーを作った野外炊飯等、予定した行事をすべて実施することができ、たくさんの思い出づくりを行うことができました。写真を通して、その様子をお知らせします。



出発式・引率者の挨拶



バスに乗り込んでいざ出発



夕食は食堂でお弁当



元気にキャンプファイヤー



手を切らないように～
カレーの準備



飯ごうをかまどにかける
前にクレンザーを…



カレーの具は煮えている？



おいしく出来上がり！



おいしいね～♪



ちょっとひといき

ある日の午後、校庭を見ると、5羽の
かもがのんびりお休み中。かもも平和な
場所を知っているのですね。

子どもたちにとっても、学校が安心・
安全な場所となるよう努めていきたいと
思います。